

守り 受け継ぎ 支える

綾子舞

閩博物館 TEL22-0567 FAX22-0568



▲ユネスコ無形文化遺産登録が決まった日

昨年ユネスコ無形文化遺産に登録され、世界の宝となった綾子舞。約 500 年前から、地域の宝として大切に守り、受け継がれてきました。

綾子舞を守り、未来へ引き継ごうと力を尽くす人々と、その思いに迫ります。

綾子舞とは

出雲の阿国おくにの初期歌舞伎のおもかげを残す芸能として、その価値を高く評価されている綾子舞。昭和 51 (1976) 年に国の重要無形民俗文化財に指定され、昨年 11 月には「風流踊ふうりゅうおどり」としてユネスコ無形文化遺産登録が決定しました。

綾子舞は、鷓川地区女谷おなだにで約 500 年前から伝承されてきた民俗芸能です。「小歌踊こたおどり」と「囃子舞はやし」、「狂言」の 3 種類で構成されます。

かつてはいくつかの集落が伝承し、66 演目があったとされていますが、現在伝承するのは高原田たかんだと下野しもの 2 つの集落となり、上演できる演目も少なくなりました。

形がないものを伝えていくことは簡単なことではありません。後継者不足は伝承者、指導者ともに長年の課題であり、人材の確保に取り組んでいます。



▲小歌踊



▲囃子舞



▲狂言

綾子舞を伝承する

約 500 年間、人から人へと受け継がれてきた綾子舞。「伝統を途絶えさせたくない」という思いで、未来へと引き継ぐ人たちが伝承者です。

伝承者 養成講座

伝承者の養成のために 5～10 月に 20 回ほど、高原田、下野の座元ごとに稽古が行われています。

毎年 9 月に行われる現地公開や依頼公演への出演を目標に、大人と子どもと一緒に舞や笛・太鼓など楽器演奏の技術を磨いています。



講座日程

詳しい開催日は博物館にお問い合わせください

高原田

▶とき…火曜の 19:00～
21:00

▶ところ…ワークプラザ

下野

▶とき…木曜の 19:30～
21:30

▶ところ…綾子舞会館

あなたも始めてみませんか？

はやしかた
・ 囃子方

囃子方は舞台の後方で、楽器や歌を担当している人たちです。座元や演目によって楽器や並び順が変わります。



戸田 達也さん

兄の友人が綾子舞を舞っていたことがきっかけで、小学 2 年生から踊り手を学び始めました。囃子方を初めてやったのは中学 2 年生の頃です。演目をやりきった後、観客からの拍手が鳴り響く時に一番のやりがいを感じます。囃子方は年齢などに関係なく、綾子舞の舞台に立ってます！興味がある方お待ちしております。



じめんじ 治面地 学さん

2 年前、友人の父の紹介で綾子舞を知り、その凄さにすぐ「やってみよう」と囃子方を始めました。綾子舞は扇の扱い方が繊細で、優雅で上品。お囃子と一緒に歌があるところも魅力的です。歌詞などに興味を持ち、楽しみながら学んでいます。綾子舞をまだ見たことがない人には、ぜひ一度見てもらいたいです。



養成講座は見学もできます。お気軽に博物館にお問い合わせください。

インタビュー

養成講座に取り組む子どもたち

舞台上観客の反応を受け取れることが楽しい

小学3年生の時に伝承学習に参加し、綾子舞を習い始めました。兄が先に始めていて、その姿に憧れたのがきっかけです。

舞台上立ち、お客さんの反応を直接感じることができるのが一番楽しい瞬間です。昨年の現地公開では「すり」という演目をしたのですが、観客の皆さんの笑い声をたくさん聞けてとてもうれしかったです。

今は新しい演目に挑戦しています。動きを体に染み込ませ、細かいところまで意識することで胸を張って舞えるようになりたいです。

養成講座を、初心者が行く場所じゃないと思っている人がいたとしたら「そんなことないよ」と伝えたいです。待っています！

養成講座に参加する子どもたちは、これまで脈々と受け継がれてきた伝統の重さを感じ、伝承者の一人であることに誇りを持って取り組んでいます。

自分の舞をさらに磨きたい、後輩たちにも教えてあげたい。語られる言葉の一つ一つから、綾子舞を大切に思う気持ちと未来へとつなぐ決意が伝わってきます。

高原田 ◆◆ 中村 しゅんや 駿也さん (高校1年生)



楽しいけど大変。でも上手に舞えた時はとてもうれしいです！綾子舞はこれからも守っていかなければならないものだと思います。

教えて！ みんなの思い

VOICE

綾子舞を習い始め、やっていくうちにどんどん楽しくなりました。習得した舞は、私の宝です！

500年も受け継がれてきた綾子舞のすごさを感じます。頑張って練習して、発表会で成功すると嬉しいです！

猪爪 あやか 彩花さん

星野 ゆず 友杏さん

高橋 ゆいか 結香さん

伝承学習

5月9日(火)に行われた、1回目の伝承学習の様子▶



伝承地区である鶴川小学校のクラブ活動として昭和 45 (1970) 年に始まり、現在は南中学校と新道小学校で「綾子舞伝承学習」が行われています。

今年度は小学3年生から中学3年生の児童・生徒74人が参加。約10回の練習に取り組み、その成果を11月の発表会で披露します。

柏崎市綾子舞保存振興会のメンバーが、子どもたちに舞い方などの指導をしています。

下野 ◆◆ 小林 ^{ゆな} 優南さん (高校1年生)



綾子舞を続けることは、私の1つの使命

小学3年生から7年、綾子舞を続けています。1つの舞台をやり遂げるたびに達成感とやりがいを感じています。

今の舞に満足せずにさらに上達したい。そしてその姿を1人でも多くのお客さんに見てもらおうことで、綾子舞の魅力を広げたいです。後輩たちにも、夢を与えることができたらうれしいです。

自分たちがやめたら、綾子舞が途絶えてしまう。私の1つの使命として、責任と誇りを持ってこれからも続けていきたいです。

養成講座に少しでも興味を持っている人がいたら、気負わずに挑戦してほしいです。続けていくことで魅力を感じられると思います。



養成講座を受講している小学6年生の皆さんに、綾子舞への思いを聞きました。

低い姿勢をキープするのが難しいけど、仲間と笑顔で学んでいます。綾子舞は楽しいぞ～！



中村 颯仁さん



飯塚 禱弥さん

たくさんあるセリフを覚えるのが大変だけど、セリフを言うのは楽しいです！後輩のお手本になって、教えてあげたいです。



小林 璃南さん

綾子舞で一番難しいのは扇の使い方です。1つ1つの動きを意識して練習しています。多くの人に見てもらおうのが目標です！

綾子舞を 支える人たち

華やかな舞で人々を魅了する綾子舞。舞台の裏で、力強く支え、背中を押してくれる人たちを紹介します。

着付け師

華やかな衣装も大切な宝。踊り手が舞いやすいように、着崩れることがないように、心を配って着付けをする人たちがいます。着付けの技術もまた、人から人へと受け継がれています。

着付けの仕事を教えてもらいました

着る前



公演が近づくと、衣装や小物をたんすから出して枚数やサイズを確認し、荷造りをします。

着付け



1 演目の着付けにかかる時間は約 1 時間。上演スケジュールに合わせて、演者の子どもたちへの負担も考えながら手際よく着付けます。

着た後



ひと踊りすると演者は汗だく。次の公演のために、また衣装を長持ちさせるために、陰干しや洗濯などの後始末は重要です。

インタビュー



高原田

横田 ひさこ 寿子さん

綾子舞を次の世代へ

小学 1 年生から中学生まで踊り手をしていました。今は指導と着付けを担当しています。高原田では着付けの仕事を 4 人で担当しており、その全員が指導もしています。舞台本番で子どもたちが上手に舞う姿を見て「よかったね」と言い合える瞬間にやりがいを感じます。

綾子舞は「なくしたくない。次の世代に渡したい」もの。着付けも新しい人に声を掛け、技術を引き継いでいます。



下野

石田 のりこ 紀子さん

子どもの笑顔がうれしい

綾子舞の指導をするようになって 10 年、着付けの仕事に携わるようになって 5 年です。子どもの頃は踊り手だったのでたたみ方は知っていましたが、着付けは初めての挑戦でした。

舞台本番は、始まってから終わるまでの約 15 分、着崩れたりしないかドキドキしながら見守っています。「上手に舞えた」と笑顔で戻ってくる子どもたちを見るのが何よりもうれしいです。

柏崎市綾子舞保存振興会

「柏崎市綾子舞保存振興会」は、綾子舞の保存振興のために高原田と下野の両座元で構成された組織です。

会長とそれぞれの座元を束ねる座頭に綾子舞への思いを伺いました。



高橋 一也さん

柏崎市綾子舞保存振興会 会長

人が人に教え、伝える。舞の形だけでなく、座元の思いも込められているのが綾子舞です。先祖伝来の芸風を目指し座元の皆さんが大切に受け継いできたからこそ、綾子舞は多くの人に見てもらえるようになりました。そのことを、会長としても大切にしたいです。



猪俣 義行さん

高原田綾子舞保存会 座頭

綾子舞をこれからも傳承していくために、次を担う人たちを育てていくことを一番大事にしています。

興味がある人は、難しく考えずにチャレンジしてほしいです。笛や太鼓など、囃子方をやってみたい人もお気軽にお越しください。お待ちしております。

ざがしら
座頭



関 一重さん

下野綾子舞保存会 座頭

小歌踊、囃子舞、狂言と演目が多彩なところ、セリフの1つ1つから大事なことを学べるところに綾子舞の魅力を感じます。

今学んでいる子どもたちにはこれからも続けて欲しいですし、座元の中心的な役割も、世代を空けずに引き継いでいきたいです。

綾子舞が見たいと思ったら

現地公開

毎年9月の第2日曜に、伝承地である鶴川地区女谷の綾子舞会館特設舞台上で一般公開されます。「小歌踊」「囃子舞」「狂言」を10演目ほど披露。普段披露する機会の少ない狂言を見ることができ、舞台と観客席に一体感が生まれるのも現地公開ならではの魅力です。



あなたの応援が、綾子舞の未来につながります

高原田と下野の2つの座元が先祖伝来の芸風を守って受け継ぐ綾子舞。

柏崎の宝、世界の宝である綾子舞の舞台を見てみませんか。あなたの拍手が伝承に弾みをつけ、伝承者たちの原動力になります。

そして、綾子舞の良さを周囲の人たちに伝えてください。多くの人に綾子舞を知ってもらえることが、約500年続いてきた綾子舞が、この先も大切に受け継がれることにつながります。

YouTube



柏崎市公式チャンネルで、現地公開の映像を見ることができます。伝承地に鳴り響くおはやしと、優雅な舞をお楽しみください。

◀映像はこちらから